

# ロボット支援腹腔鏡下根治的前立腺摘除術を受けられる患者様へ

<入院診療計画書> 病名[前立腺腫瘍]

症状[ ]

倉敷中央病院 泌尿器科  
 入院年月日: 年 月 日  
 退院予定年月日: 年 月 日

様 主治医( ) 担当看護師( ) 担当薬剤師( ) 説明者( )

	入院前	入院日 ( / )	手術前日 ( / )	手術当日( / )		術後1日目 ( / )	術後2日目 ( / )	術後3日目 ( / )	術後4日目 ( / )	術後5日目以降 ( / )	退院日 ( / )
				術前	術後						
目標	入院の目的が理解できる	手術に関連した説明内容が理解でき、実施できる		全身状態に関し、手術可能である	意識レベルが清明で、 血圧・呼吸が安定している 痛みが軽く夜間入眠できる	血圧が安定している ドレンからの排液が少なく 離床ができる	ドレーンの排液の 性状に異常がない 高熱がない	創部の感染がない 高熱がない			術後の合併症がない 退院後の自己管理 ができる
検査受診	・手術に必要な検査があります *検査で異常がある場合は他科受診があります	・麻酔術前診察			手術後から翌日の朝まで 心電図モニターをつけます	・採血				・膀胱造影 術後経過により 検査日が決まります	尿道の管が抜去された翌日に退院となります
処置			・おへその掃除をします  ・下剤内服	・朝、排便なければ坐剤処置があります。 ・弾性ストッキングは手術室に持って行きます	・お腹に管が入ります  ・酸素吸入をします ・尿をだすための管が入ります		・お腹の管を抜きます  ・ガーゼ交換			・検査後尿の管を抜去します ・排尿ごとに時間と量をかきとめてください	
薬剤	・医師より内服の中止を言われた薬は内服しないでください	□内服薬は医師の指示のもとで服用してください 		□内服薬は麻酔科医の指示によります  □指示にて点滴します	□痛みに対しては痛み止めなど、吐き気に対しては吐き気止めなどの援助をさせていただきます ・24時間点滴をします ・抗生物質の点滴を手術室でします	□水分がとれたら内服薬を服用してください 	□抗血小板剤、血糖降下剤の再開日をお知らせします  ・点滴を抜きます				
安静度	・制限はありません				ベッド上安静(寝返りはできます)	・歩行開始					
食事	・制限はありません	・普通食	・普通食	・絶食 水分は( )時迄とれます  	・絶飲食 	・10時から水分を飲むことができます。 ・問題なければ昼から三分粥、夜から普通食になります。 					
排泄		・トイレ			・排便はベッド上です	・トイレ					
清潔	・入浴できます 					・体を拭きます ・陰部を洗います 			お腹の管が抜けたらシャワーに入れます	・入浴できます 	
説明指導	・入院の手続き ・入院オリエンテーション	・入院時オリエンテーション ・術前オリエンテーション ・手術説明(主治医より患者様とご家族に説明があります)時間未定		・ご家族の方は、手術開始2時間前までには病室へお越しください 	・術後説明 	・早期離床 ・歩行練習 点滴や管の取り扱いについて				・骨盤底筋体操 尿とりパットの測定方法 ・水分をとりましょう	・日常生活についての説明 骨盤底筋体操を頑張りましょう。

**入院時必ず持参して下さい**

説明日: 年 月 日

●総合的な機能評価(該当する場合別紙にて評価)

特別な栄養管理の必要性 有  無

尿失禁、頻尿が日常生活の妨げにならない程度であり、排尿時痛や創痛がある場合は内服薬でコントロールできる範囲であれば退院できます。

上記の入院診療計画について説明を受け、了承しました患者(家族あるいは代理人)  
平成27年1月作成